

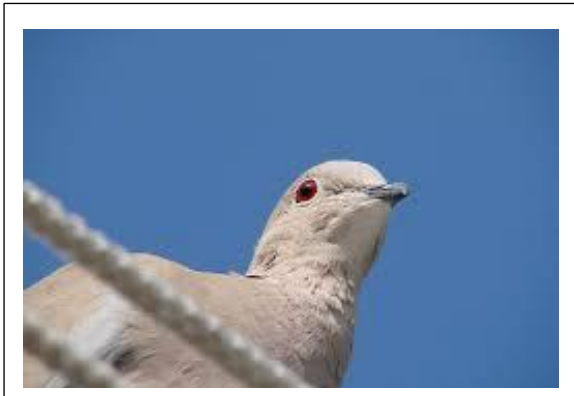
ちっちゃいものくらぶ

今回の「ちっちゃいものくらぶ」は、「せつない動物図鑑」(ブルック・バーカー著)から、動物のちょっとしたせつない告白をご紹介します。この本のキャッチコピーはすごいよ!「ゆるーいけど全米ベストセラー」「せつなすぎて25万部突破!」「誰かに話したくなる本No.1」「この世界は、たくさんのせつなさにあふれている」など、購買意欲を掻き立てられて、つい買ってしまったのであります。そこからちょっとずつ、みんなにも紹介していくからね~。

カラス(さん)

「カラスは嫌いな人間の顔を忘れない」

どこでも見かける日本ではおなじみさん。アメリカのワシントン大学の実験で、カラスは自分に嫌なことをした人間の顔をしっかり覚えていて、**嫌いな人間だけをピンポイントで襲う**ことが確認された。その上他のカラスに「**あいつをやっつけようぜ**」と協力まで求め、**集団で攻撃**することもあるそうだ。



ハト(さん)

「ハトはめんどくさいことを先延ばしにする」

ある実験でわかったこと。まず板をつつくと餌がもらえることを教える。板が出てきて15秒以内なら8回つつけば済むが、それ以上先延ばしにすると40回つつかないと餌は出てこない。でも結果はいつも同じ。つつく回数が増えようとも、ハトはできるだけ長く休んでから**つつきを開始**したそうだ。

ラッコ(さん)

「ラッコと一緒に泳ぐと、人間は1時間で死ぬ」

ラッコが泳ぐ海の水は、氷より低い温度。水は0℃で凍るが、海水は塩分を含んでいるので凍らないんだ。もしここに人間が浸かっていたら、**寒すぎて1時間で死んじゃう**。そんな極寒の海でもラッコが生きていけるのは、全身にびっしり生えた毛のおかげ。この密度は**6cmに人間の髪の毛全部と同じくらい**の毛が生えてるほど。重要なのは、その毛を何時間もかけてふわふわに毛繕いし、**空気**の層を作ること。**空気が熱を遮るので、ふわふわにしておけば体温が逃げず冷たい海でも凍えない**んだって。

